

## 【第 104 回対策本部会議】 9 月 29 日

ワクチン接種調整チームリーダー／12 歳以上人口の第 1 回目ワクチン接種率は、78%を超えた。総仕上げの段階に入り、改めてワクチン接種を希望する県民にお知らせする。

まず、市町のホームページを確認の上、市町で予約をしてほしい。ワクチンの供給量が増え、市町の予約は取りやすくなっている。予約が取りにくかった佐賀市でも、個別医療機関で予約できるようになっている。

それでも予約が取れない場合、県庁新行政棟 1 階県民ホールで行う平日の夜間の大規模接種を活用してほしい。1 回目が、10 月 4 日(月)～15 日(金)、2 回目は、11 月 1 日(月)～11 月 12 日(金)。時間は、18 時 30 分～20 時 30 分。1 日当たり 300 人を対象にする。

上記 2 か所でも予約が取れない場合、0952-25-7617 専用ダイヤルに相談してほしい。希望する最後の 1 人までワクチン接種を進めていく。

ワクチン接種調整チーム副リーダー／県立図書館所蔵の絵が国の政府広報に活用された。

採用された「種痘之図」には、殿様(直正公)が天然痘対策のためにワクチン接種を広めたと書かれている。政府広報の本文には、「天然痘との闘いの救世主はワクチンだった。新型コロナウイルスの切り札もワクチン接種だ。ワクチンを打ち、コロナに打ち勝ちましょう」と書いてある。

健康福祉部長／23 日からの感染者数は、ほとんどが 1 桁。感染経路不明者も、多い日で 4 人と少なくなっている。感染者の多くは接触者で、調査・検査ができています。早い段階で広がりを防いでいきたい。

入院者は 27 人、病床使用率 6.2%。うち、重症者が 1 人、使用率 2.1%。ホテル療養者は 40 人、使用率 8.1%。自宅療養者はいない。

引き続き、基本的な感染予防の徹底をお願いします。

政策部長／28 日の政府の新型コロナウイルス感染症対策本部で、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置を 30 日で解除すると決定された。移行措置もなく、一切終了になる。

緊急事態宣言は、まん延防止等重点措置に移行しないが、現在実施されている対策の緩和は、段階的に行うようにとのこと。例えば、政府の基本的対処方針には、

- ・地域の感染状況等を踏まえ、飲食店に対する時短要請を継続、緩和は段階的に
- ・都道府県間の移動は、基本的な感染防止策の徹底とワクチン接種未了の者等リスクの高い者への検査の勧奨

と書かれている。これを踏まえて、福岡県は、10 月 1 日以降の県境をまたぐ移動は、「基本的な感染防止策を徹底」「ワクチン接種を完了していない場合は、移動に際して PCR 検査を行うよう努める」と変更した。

知事／感染者数が減ってきたが、まれに2桁になることもある。これは、クラスターが発生したことや感染経路を追って、幅広く検査することで感染者を見つけることができているから。

また、感染経路不明者の感染がわかったときも、行動歴の聞き取りにご協力いただき、囲い込みができている。

病床の占有率が8日間連続1桁になり、医療環境は十分確保できている。それらから判断し、現在はステージ1だといえる。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除になり、九州各県の状況も落ち着いてきた。これまでお願いしていた「県外との往来、県外での会食の自粛」を本日から解除する。これからは、「県外への移動は、特に感染予防を徹底してください」。また、県内では基本的な感染予防の徹底をお願いする。

教育長／県外との往来自粛の解除を受け、部活動の県外交流及び宿泊を伴う活動を制限付きで10月1日から解除する。次のような場合は、交流しないよう制限を加える。

- ・交流相手の県が県独自の緊急措置などを発令している場合
- ・交流先の学校が感染により、全部または一部の臨時休業等の措置を取っている場合

県外との交流は、通常の部活動より感染リスクが高いと認識し、今まで以上に感染対策を徹底するよう、本日付で学校や市町に伝える。

知事／鍋島直正公は、牛痘ワクチンを自分の息子に接種するという、当時まれにみる英断をした。そこから、ワクチンが全国に広がった。本県はワクチンが大切だと、藩の歴史から学んでいる。

当初、新型コロナのワクチン接種率は順調に伸びていたが、途中、国からの供給が滞り、ご迷惑をおかけした。いよいよ最終段階に入り、接種を希望する全員に受けもらえるよう、市町と相談し県民側の視点で準備を整えた。

まず、市町やかかりつけ医で予約を試みる。平日の夜間にしか受けられない人は、県民ホールの大規模接種会場へ。それでも都合がつかない人は、0952-25-7617へ電話相談を。

2回目の接種が、最後のおひとりまで済んだあとに3回目を議論したい。まずは、希望する全員に2回目の接種を進めていく。これは、県内在勤者を含む。

現在、県内は「支え愛局面」。生産者や飲食店への「支え愛」をお願いする。

SAGA おいし〜と食事券の第2弾「やっぱり佐賀が好き」は、10月1日から販売開始し、同日から使用可能。第1弾のお食事券も10月いっぱいまで使用できる。「支え愛宿泊キャンペーン」は、来年1月1日チェックアウトまでのキャンペーン。また、贈答品や返礼品に、佐賀県産品をご利用いただきたい。

医療現場、介護、福祉、保育所、教育現場、ワクチン接種の取組、県民の取組に心から感謝  
申し上げます。佐賀県は慈しみの県。誹謗中傷は決して行わないように。

チーム佐賀・オール佐賀、佐賀らしい方法で1つになって乗り切っていきましょう。